

## 医学系研究に関する情報の公開について

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 研究機関名*                | 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院   |
| 研究課題名*                | 進行再発大腸癌の希少フラクションにおけるリアルワールドデータ作成のための前向き多機関共同研究   |
| 所属科*                  | 外科   |
| 研究責任者*                | 鄭 充善   |
| 研究実施期間                | 開始 承認日 ~<br>終了 西暦2028年 6月30日 (予定)  |
| 対象疾患 (予定症例数)          | 大腸癌 (650症例)  |
| 研究対象となる治療・手術・検査の時期    | 開始 承認日 ~<br>終了 西暦2028年 6月30日 (予定)  |
| 研究概要*                 | <p>近年、遺伝子プロファイリングに基づく大腸癌治療が実施されている。本研究は、非常に希な遺伝子異常を有する集団(希少フラクション)に対するリアルワールドデータの蓄積を目的とする。観察法や治療方針の均てん化につながり、今後の臨床試験実施の基盤にもなる。このことは、将来的な大腸癌診療の発展に貢献することが期待される。</p> <p>本研究は多機関共同の前向き研究である。日常診療で行うがん関連遺伝子検査の結果、KRAS<sup>G12C</sup>、BRAF<sup>V600E</sup>、HER2、NTRK、MSI-H/dMMR、TMB-Hのいずれかが同定された症例を対象とし、臨床データと治療経過をデータベースに登録する。</p> |
| 倫理的配慮・個人情報の保護の方法について* | <p>連結可能匿名化を行う。対応表は外科で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。</p>   |
| 研究の問い合わせ先*            |  |

\* 記入必須項目